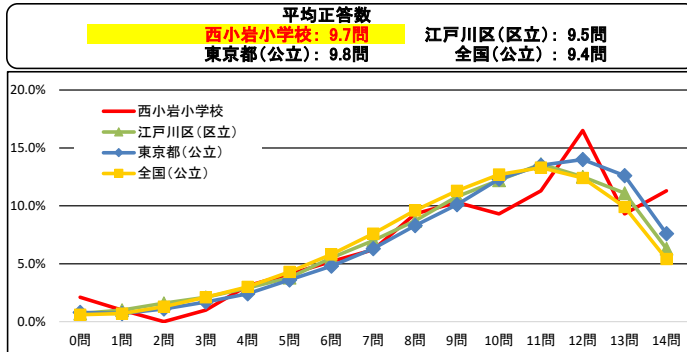


# 令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 西小岩小学校

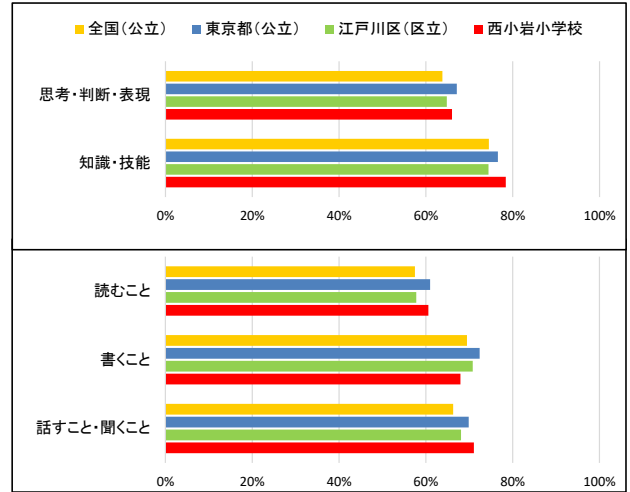
## 正答数分布



【平均正答率の差】

西小岩小学校	70%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	0.0

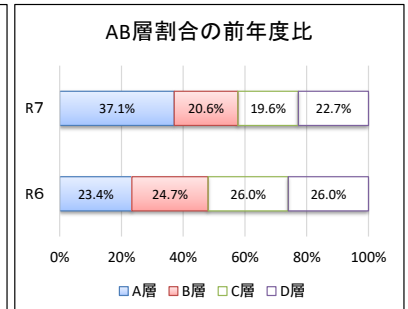
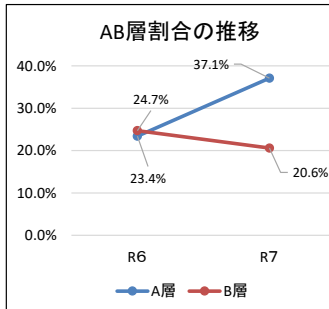
## 「領域別」の結果



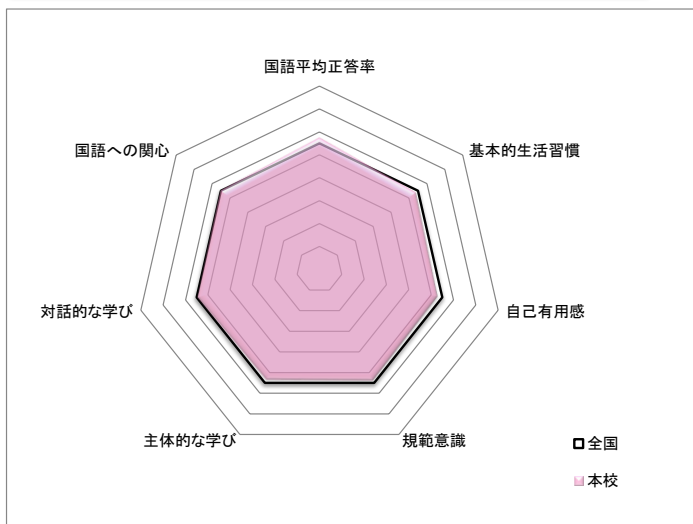
## 四分位における割合(都全体の四分位による)

国語	上位 ←				→ 下位			
	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
西小岩小学校	37.1%	20.6%	19.6%	22.7%	37.1%	20.6%	19.6%	22.7%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



## 各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



### 《チャートの特徴》

- ・平均正答率が全国に比べ高い。
- ・国語への関心が全国に比べ、若干低い。
- ・自己有用感、規範意識が全国に比べ低い。

### 《家庭・地域への働きかけ》

- ・ホームページなどで学習の様子を公開し、広く伝えていく。
- ・家庭学習の目安時間(各学年×10分)を周知する。
- ・江戸川つ子study week!の取り組みを伝え、家庭学習習慣の定着を図る。
- ・宿題で音読を出し、内容の理解を深めていく。
- ・母語が日本語ではない児童には、日本語にも慣れ親しんでもらう。

### 《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・AB層が合わせて57.7%と前年度に比べ大幅に増えた。
- ・東京都のAB層の合計と比べると、2.5%低い。

### 《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- ・教員同士の授業観察を行い、授業後に話し合いを行う。
- ・毎時間の授業展開(めあて、ねらい)を明確にする。

### ・基礎学力の保障

- ・定期的な漢字小テストの実施と、反復学習をする。
- ・よむYOMUワークシートを活用し、文章を読むことへの抵抗感をなくしていく。
- ・ステップアップの時間で、漢字の習熟を図る。
- ・江戸川区学力定着調査を年に3回実施する。

### ・学習習慣の確立

- ・江戸川つ子study week!の家庭学習で、学習内容の定着を図る。
- ・自主学習を推進し、上手な児童のノートを広げていく。
- ・読書バックに本を入れて、いつでも手に取れるようにする。

### ・AB層の育成

- ・よむYOMUワークシートを活用し、読む力を育成する。
- ・言語活動の充実を図り、多様な学習活動を保障する。
- ・本文をしっかりと読む時間を設け、大事な部分に線を引くなどの活動を取り入れる。